



ご自由にお持ちください

日本赤十字社

秋田赤十字病院 広報紙

あいのまど

2017.8
Vol.33

秋田県唯一の総合周産期母子医療センター 母と子に安全・安心・満足を



当院は平成19年に総合周産期母子医療センターに指定され、今年で11年目を迎えています。周産期医療の砦として、秋田県全域の周産期救急医療に対応すべく、医師、助産師、看護師、薬剤師、臨床心理士がチーム一丸となって、日夜奮闘しています。新野隆子看護副部長 兼 産科病棟看護師長に話を聞きました。(周産期…妊娠22週から生後満7日未満の期間のこと。)

産科病棟スタッフ(前列右端が新野看護副部長)

少子化と晩産化

秋田県は1995年以来22年連続で出生率が全国最下位を更新しており、平成27年の出生数は5,861人でした。その中で当院では周産期の母体搬送111件、新生児搬送11件を受け入れるほか、931人の赤ちゃんが生まれています。

そのうちの3割以上が35歳以上と秋田県でも晩産化の傾向が見られます。35歳以上の妊娠を高齢妊娠といいますが、この場合、妊娠高血圧症や妊娠糖尿病等合併症の頻度が高まり、早産となる率が極めて高まります。

周産期プロフェッショナルを目指して

総合周産期母子医療センターのメンバーは産科医師4人、新生児科医師5人、助産師38人、看護師47人、看護助手4人です。センターでは周産期専門医および周産期指導医の育成に努め、秋田大学と共に県内の周産期医療関係者に教育の場を提供しています。

スタッフには周産期救急に関する教育コースのALSOプロバイダー研修受講を促したり、日本周産期

ほかにもこのような資格をもったスタッフが活躍中!

日本看護協会認定アドバンス助産師 14名

新生児集中ケア認定看護師 2名

桶谷式乳房管理認定者 2名 日本糖尿病療養指導士 1名

→新生児医学会認定の新生児蘇生法講習会を全員受講するなど日々研鑽に励んでいます。

産科・新生児科
合同カンファレンスを月2回行っており、ハイリスク分娩や帝王切開には産科と新生児科の医師、助産師、看護



新生児病棟

師が立ち会い母児の安全の確立に努めています。また、早産でも母子分離を最小限とし、母乳育児を推進しながら支援しています。

妊娠中から産後までの子育て支援

周産期においても、これからは住み慣れた地域で安心・安全に妊娠、出産、子育てができる「地域包括ケアシステム」の構築が求められています。今年度、センターに「あんしん子育て支援委員会」ができました。妊娠中から産後まで、切れ目のない支援を目指し、院内だけでなく地域と連携し、県民が安心して妊娠、出産、子育てができるようスタッフ一同取り組んでいきたいと思っています。

「あいのまど」とは……当院の病棟では個室も4床室も患者さん一人にひとつ窓があります。

その安らぎの療養環境からイメージを得て病院歌「愛の窓」が作られ、そこから着想したものです。

健康生活 ワンポイント情報

こころの健康 ストレスドック

保健師 生田 京子

ストレスドック

完全予約制です

内容 ストレスチェック、心理チェック、
臨床心理士との面談

時間 1時間

料金 6,480円

お申込み、お問い合わせ先

TEL 018-829-5060

(平日13:30~16:00)

メール stress_dock@akita-med.jrc.or.jp

(ご希望の日時、お名前をお書きください。

確認後返信します。)

ストレスとは、日常生活の中で起こる様々な変化に伴って生じるこころや身体の反応です。

嫌なことや辛いことだけでなく、うれしいことや楽しいこともストレスの原因になります。

日常の変化を受けとめ、ストレスとうまく付き合うことで自分も成長できるので、ストレスは生きていく上で必要不可欠なものともいえます。問題になるのは、自分の力では対処しきれず、ストレスによってこころや身体に大きな負担がかかったときです。

このようなときには、自分一人で悩まずに専門家などに相談することも一つの方法になります。

当院健康増進センターではこころの健康ストレスドックを行っています。16歳以上であればどなたでも受けられますので、お気軽にご利用ください。(心療内科通院中の方はご遠慮ください。)

大事なのは、健診の後

秋田市中通地区にある「あきた健康管理センター」は健診専門施設です。法定健診や生活習慣病予防健診、ドック健診などに対応し、1日約50人、年間1万人を超える方においていただいております。ゆったりとした待合スペースとワンフロアで完結できる健診はご好評をいただいております。スタッフ一同、皆様が安心して健診を受けていただけるよう努めております。健診は「受けっぱなし」ではなく、検査結果に関心を持ってきちんと対処していただく、あるいは日々の生活習慣を振り返っていただくことが目的です。

生活改善にトライ!

私は、健診では視力・聴力検査を担当しております。私自身は、高血糖、脂質異常、腹囲86cmと、立派な「メタボ」ですが、極力体を動かして、甘いものは控え、酒はやらない(ちょっとは飲む)生活に改めました。「それで人生一体何が面白いんだ!」なんて声も聞こえてきそうですが、諦めず、よりよい人生を全うしたいと思っています。ごいっしょにいかがですか?

おたより
O'tayori



From

あきた健康管理センター
健康管理課長

菊地 忠広

Tadahiro Kukuchi

Profile

出身地 秋田市牛島

趣味 映画鑑賞 (DVD)
読書、散歩
サイクリング